

令和4年9月30日

クレジットカード不正利用被害の集計結果について

一般社団法人日本クレジット協会

一般社団法人日本クレジット協会（会長 山本 豊）は、クレジットカードの不正利用の実態を明らかにするため、クレジットカード発行会社を対象としたクレジットカード不正利用被害実態調査を継続的に実施しており、このたび、2022年第2四半期（4月～6月分）の集計値をとりまとめました。

これによると、今四半期の不正利用被害額は106.4億円で前期比（2022年第1四半期（1月～3月））では6.3%の増加、不正利用被害額に占める偽造被害額は0.2億円で横ばい、番号盗用被害額は100.8億円で6.6%の増加、その他不正利用被害額は5.4億円で1.9%の増加となりました。

なお、不正利用被害額の前年同期比（2021年4月～6月）では29.9%の増加となりました。

※ 詳細は、「別紙 クレジットカード不正利用被害の発生状況」を参照してください。

◎お問い合わせは下記までお願いいたします。
一般社団法人日本クレジット協会 業務企画部
高橋、岡田
〒103-0016 中央区日本橋小網町14番1号
住生日本橋小網町ビル
TEL 03-5643-0011

投稿先：東商記者クラブ・日銀記者クラブ

クレジットカード不正利用被害の発生状況

(単位：億円、％)

期 間	クレジットカード不正 利用被害額	クレジットカード不正利用被害額の内訳					
		偽造カード被害額		番号盗用被害額		その他不正利用被害額	
		被害額	構成比	被害額	構成比	被害額	構成比
2014年(1月～12月)	114.5	19.5	17.0%	67.3	58.8%	27.7	24.2%
2015年(1月～12月)	120.9	23.1	19.1%	72.2	59.7%	25.6	21.2%
2016年(1月～12月)	142.0	30.6	21.6%	88.9	62.6%	22.5	15.8%
2017年(1月～12月)	236.4	31.7	13.4%	176.7	74.8%	28.0	11.8%
2018年(1月～12月)	235.4	16.0	6.8%	187.6	79.7%	31.8	13.5%
2019年(1月～12月)	274.1	17.8	6.5%	222.9	81.3%	33.4	12.2%
2020年(1月～12月)	253.0	8.0	3.2%	223.6	88.4%	21.4	8.5%
2021年(1月～12月)	330.1	1.5	0.5%	311.7	94.4%	16.9	5.1%
(1月～ 3月)	73.7	0.7	0.9%	68.7	93.2%	4.3	5.8%
	81.9	0.3	0.4%	78.1	95.4%	3.5	4.2%
	81.3	0.2	0.2%	77.1	94.8%	4.0	4.9%
	93.2	0.3	0.3%	87.8	94.2%	5.1	5.5%
2022年(1月～6月)	206.5	0.4	0.2%	195.4	94.6%	10.7	5.2%
(1月～ 3月)	100.1	0.2	0.2%	94.6	94.5%	5.3	5.3%
	106.4	0.2	0.2%	100.8	94.7%	5.4	5.1%

1. (一社)日本クレジット協会の調査による。
2. 調査対象は、国際ブランドカードを発行している会社を中心に、銀行系カード会社、信販会社、流通系クレジット会社、中小小売商団体等である。
3. 回答社数は41社である。なお、銀行系カード会社のF C／B C各社は国内ブランド会社単位で、また日本専門店会連盟・エヌシー日商連の各単会
は連盟単位で、それぞれ1社としている。
4. 集計数字は、調査票提出会社のキャッシングを含む不正利用被害額を加算合計したものであり、海外発行カード分は含まない。
5. 2014年～2016年、2017年1月～6月、2018年7月～9月及び2019年10月～2020年の集計数字は変更が生じたため、修正している。
6. 2021年より、構成比は、単位未満を四捨五入しているため、内計と計は一致しない場合がある。

＜参考1＞ クレジットカード偽造被害の国内・海外別内訳

(単位：億円、％)

期 間	クレジットカード偽造 被害額	クレジットカード偽造被害額の内訳			
		国内・被害額		海外・被害額	
		被害額	構成比	被害額	構成比
2014年(1月～12月)	19.5	4.5	23.1%	15.0	76.9%
2015年(1月～12月)	23.1	5.6	24.2%	17.5	75.8%
2016年(1月～12月)	30.6	10.5	34.3%	20.1	65.7%
2017年(1月～12月)	31.7	12.8	40.4%	18.9	59.6%
2018年(1月～12月)	16.0	7.4	46.2%	8.6	53.8%
2019年(1月～12月)	17.8	6.4	36.0%	11.4	64.0%
2020年(1月～12月)	8.0	2.3	28.8%	5.7	71.3%
2021年(1月～12月)	1.5	0.8	53.3%	0.7	46.7%
(1月～ 3月)	0.7	0.5	71.4%	0.2	28.6%
	0.3	0.1	33.3%	0.2	66.7%
	0.2	0.1	50.0%	0.1	50.0%
	0.3	0.1	33.3%	0.2	66.7%
2022年(1月～6月)	0.4	0.2	50.0%	0.2	50.0%
(1月～ 3月)	0.2	0.1	50.0%	0.1	50.0%
	0.2	0.1	50.0%	0.1	50.0%

＜参考2＞ クレジットカード番号盗用の国内・海外別内訳

(単位：億円、％)

期 間	クレジットカード番号 盗用被害額	クレジットカード番号盗用被害額の内訳			
		国内・被害額		海外・被害額	
		被害額	構成比	被害額	構成比
2014年(1月～12月)	67.3	42.0	62.4%	25.3	37.6%
2015年(1月～12月)	72.2	45.7	63.3%	26.5	36.7%
2016年(1月～12月)	88.9	54.6	61.4%	34.3	38.6%
2017年(1月～12月)	176.7	108.0	61.1%	68.7	38.9%
2018年(1月～12月)	187.6	125.2	66.7%	62.4	33.3%
2019年(1月～12月)	222.9	152.9	68.6%	70.0	31.4%
2020年(1月～12月)	223.6	163.9	73.3%	59.7	26.7%
2021年(1月～12月)	311.7	235.2	75.5%	76.5	24.5%
(1月～ 3月)	68.7	53.5	77.9%	15.2	22.1%
	78.1	60.9	78.0%	17.2	22.0%
	77.1	55.8	72.4%	21.3	27.6%
	87.8	65.0	74.0%	22.8	26.0%
2022年(1月～6月)	195.4	146.8	75.1%	48.6	24.9%
(1月～ 3月)	94.6	69.9	73.9%	24.7	26.1%
	100.8	76.9	76.3%	23.9	23.7%

<参考3>
 1997年～2013年
 クレジットカード不正利用被害の発生状況

(単位：億円、％)

期 間	クレジットカード不正 利用被害額	クレジットカード不正利用被害額の内訳			
		偽造カード被害額		その他不正利用被害額	
		被害額	構成比	被害額	構成比
1997年(1月～12月)	188.0	12.0	6.4%	176.0	93.6%
1998年(1月～12月)	216.0	28.0	13.0%	188.0	87.0%
1999年(1月～12月)	271.7	90.9	33.5%	180.7	66.5%
2000年(1月～12月)	308.7	140.2	45.4%	168.5	54.6%
2001年(1月～12月)	275.7	146.4	53.1%	129.3	46.9%
2002年(1月～12月)	291.4	165.0	56.6%	126.4	43.4%
2003年(1月～12月)	271.8	164.4	60.5%	107.4	39.5%
2004年(1月～12月)	186.4	105.6	56.7%	80.8	43.3%
2005年(1月～12月)	150.4	83.4	55.5%	67.0	44.5%
2006年(1月～12月)	105.3	45.6	43.3%	59.7	56.7%
2007年(1月～12月)	91.8	39.1	42.6%	52.7	57.4%
2008年(1月～12月)	104.1	52.5	50.4%	51.6	49.6%
2009年(1月～12月)	101.6	49.2	48.4%	52.4	51.6%
2010年(1月～12月)	92.1	41.3	44.8%	50.8	55.2%
2011年(1月～12月)	78.1	25.8	33.0%	52.3	67.0%
2012年(1月～12月)	68.1	24.1	35.4%	44.0	64.6%
2013年(1月～12月)	78.6	25.8	32.8%	52.8	67.2%

1. (一社)日本クレジット協会の調査による。
2. 調査対象は、国際ブランドカードを発行している会社を中心に、銀行系カード会社、信販会社、流通系クレジット会社、中小小売商団体等である。
3. 回答社数は41社である。なお、銀行系カード会社のＦＣ／ＢＣ各社は国内ブランド会社単位で、また日本専門店会連盟・エヌシー日商連の各単会は連盟単位で、それぞれ１社としている。
4. 集計数字は、調査票提出会社のキャッシングを含む不正利用被害額を加算合計したものであり、海外発行カード分は含まない。

<参考4>
 1997～2013年
 クレジットカード偽造被害の国内・海外別内訳

(単位：億円、％)

期 間	クレジットカード偽造 被害額	クレジットカード偽造被害額の内訳			
		国内・被害額		海外・被害額	
		被害額	構成比	被害額	構成比
1997年(1月～12月)	12.0	6.0	50.0%	6.0	50.0%
1998年(1月～12月)	28.0	18.8	67.1%	9.2	32.9%
1999年(1月～12月)	90.9	76.2	83.8%	14.7	16.2%
2000年(1月～12月)	140.2	105.8	75.5%	34.4	24.5%
2001年(1月～12月)	146.4	118.9	81.2%	27.5	18.8%
2002年(1月～12月)	165.0	143.4	86.9%	21.6	13.1%
2003年(1月～12月)	164.4	139.9	85.1%	24.5	14.9%
2004年(1月～12月)	105.6	82.1	77.7%	23.5	22.3%
2005年(1月～12月)	83.4	64.2	77.0%	19.2	23.0%
2006年(1月～12月)	45.6	31.7	69.5%	13.9	30.5%
2007年(1月～12月)	39.1	25.0	63.9%	14.1	36.1%
2008年(1月～12月)	52.5	38.0	72.4%	14.5	27.6%
2009年(1月～12月)	49.2	32.6	66.3%	16.6	33.7%
2010年(1月～12月)	41.3	28.7	69.5%	12.6	30.5%
2011年(1月～12月)	25.8	18.5	71.7%	7.3	28.3%
2012年(1月～12月)	24.1	14.9	61.8%	9.2	38.2%
2013年(1月～12月)	25.8	15.0	58.1%	10.8	41.9%